

令和2年度 指定管理者施設管理評価シート			部課名	福祉部高齢福祉課
施設名称	9	東京都台東区立特別養護老人ホーム浅草	指定管理者	社会福祉法人台東区社会福祉事業団
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募		指定期間	R2.4.1 ~ R7.3.31

1. 施設及び事業の概要	
(1)	[設置目的] 居宅において介護を受けることが困難な高齢者に対し、介護その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話をを行い、高齢者の福祉の向上を図る。
(2)	[所在地] 台東区浅草4-26-2 [規模] 延床面積 4,588.35㎡の内4,188.45㎡ RC造地上5階地下1階 駐車場、ボランティア室、居室、食堂、浴室（機械浴、一般浴）、医務室など
(3)	[委託事業] 入所者の健康管理、機能訓練、生活介助（食事、介護（排泄・入浴援助））、地域ボランティア活動支援、年間防災訓練などの事業。併設事業として短期入所生活介護の運営。施設、付属設備及び物品の保全。施設内の清潔整頓等。 [自主事業] 自主事業は行っていない。
(4)	[利用者] 常時介護が必要で、自宅で介護が困難な要介護者 [利用料金制] <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
(5)	[開館日・時間] 通年、24時間
(6)	[人員体制] 35名 (内 訳) 施設長1、医師6（嘱託6）、生活相談員2、介護支援相談員1、管理栄養士1、機能訓練指導員3（アルバイト3）、事務員3、ケアワーカー（常勤9、短労1）、看護師（常勤3、短労1）、その他のアルバイト4 (前年増減) ケアワーカー（常勤-15）

2. 予算決算		H30予算	H30決算	R1予算	R1決算
収入	委託料（指定管理料）	51,100,000	51,100,000	51,602,000	51,602,000
	利用料金収入	349,194,000	351,262,880	356,563,000	329,799,090
	その他収入（利用者等外給食費等）	21,395,000	39,475,115	33,107,000	9,154,678
	計	421,689,000	441,837,995	441,272,000	390,555,768
支出	人件費	279,683,000	288,111,628	301,691,000	311,268,832
	光熱水費	24,578,000	22,112,563	24,091,000	21,613,935
	維持管理費（委託料・賃借料）	44,886,000	43,165,231	45,289,000	43,580,879
	修繕費	3,098,000	2,841,761	3,170,000	2,191,687
	事業費	0	0	0	0
	その他支出（利用者等外給食費等）	69,444,000	90,041,477	67,031,000	58,446,326
	計	421,689,000	446,272,660	441,272,000	437,101,659
収支			-4,434,665		-46,545,891

3. 活動指標	単位	(目標値)R3年度	H29年度	H30年度	R1年度
入所定員（ショートステイ含む）	人	-	84	84	84

4. 成果指標	単位	(目標値)R3年度	H29年度	H30年度	R1年度
利用率（特養+ショート）	%	-	94.1	94.2	88
利用者数（特養+ショート）	人	-	28,843	28,887	27,054

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取組み状況

6. 評価の観点 (20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	事業計画書・事業報告書等の必要書類の提出を適切に行った。新型コロナウイルス感染症対策として、利用者・職員等の検温、マスク着用、手指消毒の徹底やイベントの中止、外部の方の立ち入り制限等を行っており、全般的に適切な施設運営が行われている。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
20 / 20 点	基準配置以上の人員を配置し、有資格者も多く、キャリア段位制度を活用することで介護技術の向上を図っている。大規模改修に伴う、利用者の転居をスムーズに進めているなど、全体的には良好な事業運営がなされている。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	日常的な清掃においては、季節により清掃方法を変え感染症等の発生及びまん延防止に努め、新型コロナウイルス感染症対策として、適宜消毒を実施している。月に1回の巡視により、危険箇所の把握に努め、施設の維持管理について適切に取り組んでいる。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
19 / 20 点	入所者のライフレビューブックを活用し、個々の希望に沿ったケアプランを作成している。利用者満足度調査の結果も、「今の施設を利用して良かったか?」という問いに、全体の87%以上の方が「大変満足」・「満足」と回答するなど高評価を得ている。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
18 / 20 点	利用料金収入の減は、大規模改修に伴うものであり、通常の施設運営においては人件費の支出が大きく増となった一方、水道光熱費や事業費支出の削減を図っており、全体としては適切な予算管理がなされている。

(6) 優れた取組み 《加点項目》 ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取組みによる成果
— 点	

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
良好 (97 / 110点)	<p>【所見】 特養は大規模改修による転居のため、利用率が下がったが、ショートステイは利用率が上昇した。改修後も利用率・サービスの向上に努める必要はあるが、施設管理は適切に行われており全体として良好な運営がなされている。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】 事業費支出等の削減は図られているが、人件費は予算より大幅に増となったため、効率的運営に努めていくとともに、利用者満足度の更なる向上に取り組む必要がある。</p>